



第3章

挑 戦

『みんなが挑戦できる
まちをつくれます』

3-1 商業

3-2 工業

3-3 観光業

3-4 農業

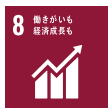
3-5 人材・雇用



第3章 挑戦「みんなが挑戦できるまちをつくります」

基本施策 3-1 商業

SDGsとの関連



現状と課題

本市では、国から中心市街地活性化基本計画の認定を受け、交流人口の拡大や商業機能の強化等について、関係団体等と連携しながら様々な取組を進めてきました。

こうした中、新型コロナウイルス感染症の拡大により、市内商業を取り巻く環境は大きく変化しました。疲弊した商業分野において、コロナ前の賑わいを取り戻すために、改めて商業祭等のイベント実施など、中心市街地の活性化が重要となるとともに、空洞化が著しい中心市街地については、空き店舗等の利活用等による商業機能の強化・集積が必要となっています。

また、商業者が持続的に発展するには、個店の魅力向上を図るとともに、商工会等による伴走型の経営サポート、各種融資制度の活用等による経営基盤の強化が必要です。

さらに、創業希望者に対する相談体制の充実や各種支援制度の活用により、新規創業を促し、商業機能の強化を行いながら賑わい創出を図る必要があります。

目標値

指標	令和9年度	説明
「市内に魅力的なお店がある」と思う市民の割合	100%	市民が魅力的だと思うお店が多くなることで、商業が活性化した状態を目指します。

方針

- 1 中心市街地における商業機能の強化・集積に取り組むほか、個店の魅力向上、経営安定化を支援します。
- 2 創業支援を強化します。

施策

3-1-1 中心市街地の商業機能強化と個店の魅力向上

これまでの取組

- ▷中心市街地活性化基本計画に基づき、二日町プラザ再生整備をはじめ、商業祭への支援を行う等、中心商店街の活性化を推進しました。
- ▷空き店舗等リノベーション補助金により、空き店舗等の解消に取り組みました。
- ▷新商品開発、販路開拓、店舗づくりに対して市独自の個店魅力創出支援補助金による支援や、商工会や関係機関と連携し、国の小規模事業者持続化補助金等の採択を支援しました。

目標

1 商業機能の集積と賑わいづくり

立地適正化計画に基づき、商業サービス水準の維持を目標に、中心市街地での商業祭等のイベント開催や地域資源の活用、外部人材と地域交流への関与等、地域コミュニティに貢献するような新たな取組を支援するとともに、空き家・空き店舗の利活用を促し、中心市街地の商業機能の強化・集積を推進して、賑わい創出を図ります。

2 地域資源である店舗・商品・サービスの磨き上げ

商工会や関係機関等と連携し、商品開発、販路拡大、店舗づくり等、地域資源として本市ならではの店舗・商品・サービスを磨き上げることで、個店の魅力を向上させるとともに、経営診断・指導を充実させ、商業者の経営を支援します。

個別計画

上山市立地適正化計画	第2期上山市まち・ひと・しごと創生総合戦略		

施策 3-1-2 創業支援の強化

これまでの取組

- ▷商工会や関係機関等と連携し、創業希望者に対する相談体制の充実や各種補助制度の情報提供を行いました。
- ▷創業補助金や空き店舗等リノベーション補助金により、新規創業を促しました。

目標

1 新規創業の促進

創業支援等事業計画に基づき、商工会や関係機関等と連携し、創業希望者に対する相談体制の充実、各種補助制度の情報提供や研修・交流を促進することにより、創業しやすい環境を整備するなど、挑戦する事業者を支援します。

また、後継者不足に悩む既存店舗とのマッチング等事業承継による創業支援についても既存事業者、創業希望者双方のニーズを踏まえながら関係機関とも協議し、検討します。

個別計画

第2期上山市まち・ひと・しごと創生総合戦略	創業支援等事業計画		



創業補助金等を活用して開業した店舗の事例

基本施策

3-2 工業

SDGsとの関連

8

働きがいも
経済成長も

9

産業と技術革新の
基盤をつくろう

12

つくる責任
つかう責任

現状と課題

本市工業は、金属加工、医薬品製造、食料品製造等、多様な分野の製造拠点がバランスよく立地しており、各企業が独自性のある技術により成長を続けてきました。これまでも産学官連携による技術課題の解決や新製品の開発・販路拡大に対する支援、企業誘致による市内経済の活性化を図るなど、本市工業の成長を推進してきました。一方で、社員の高齢化による技術継承問題、生産年齢人口の減少による人材不足、不安定な社会情勢に起因する物価高騰等の影響により先行きが見通せない経済状況となっているなど、厳しい経営が強いられています。

現在進めているかみのやま温泉インター産業団地の拡張整備により、「働く場」の創出や取引拡大に資するための新たな企業誘致の受け皿が整備されることから、積極的な情報発信を行うことで企業の設備投資の意欲を迅速に捉え、企業の意向に沿った誘致活動を行っていく必要があります。

また、今般の様々な困難な状況に打ち克ち、今後も市内企業が成長し続けるためには、各企業が持つ「強み」を活かした本市ならではの新製品の開発や、省力化設備導入による生産性向上等に取り組むとともに、企業の成長に欠かせない人材の育成・定着により、利益を確保していく必要があります。

目標値

指標	令和9年度	説明
市内製造業の製造品出荷額等	1,200億円	市内製造業の成長に向け、新製品開発や業務効率化に資する設備投資を支援するとともに、企業誘致を推進することで、製造品出荷額の増加を目指します。

方針

- 1 かみのやま温泉インター産業団地の拡張と企業誘致を推進します。
- 2 新技術や新製品の開発、生産性向上等により販路拡大に取り組む企業を支援します。

施策 3-2-1 産業拠点の形成と企業誘致

これまでの取組

- ▷かみのやま温泉インター産業団地を整備し、企業が立地しました。
- ▷かみのやま温泉インター産業団地の第2区域整備に向けて、地権者との調整や各種行政手続、調査・設計を行いました。

目標

1 新たな産業団地の整備と企業誘致の推進

かみのやま温泉インター産業団地を拡張し、雇用創出効果が高く優良な企業を誘致することで、高度人材の育成と「働く場」の創出により若者の市外流出を防ぐとともに、市内企業との取引拡大や新技術・新製品の開発等による市内経済の活性化を図ります。

また、民間事業者等が所有する市内未利用地や空き工場等に対しても、県や協定金融機関等との連携により企業誘致を推進します。

個別計画

上山市農村地域への産業の導入に関する実施計画	第2期上山市まち・ひと・しごと創生総合戦略		



かみのやま温泉インター産業団地

施策

3-2-2 工業の成長支援

これまでの取組

- ▷市内企業20社に対し、産業振興アドバイザーが延べ190回の企業訪問を実施し、試作品開発への助言を行いました。
- ▷令和5年度より中小企業設備投資促進補助金の補助率・限度額を大幅に拡充し、設備投資による新製品の開発や生産性向上を図る市内中小企業を支援しました。
- ▷資源価格の高騰を受け、既存設備を省エネ設備へ更新し、経営力強化による競争力の向上を図る市内中小企業を支援しました。

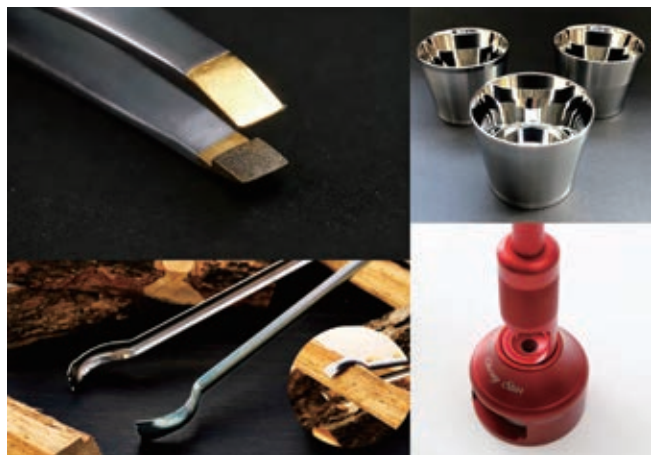
目標

1 成長し続けられる環境の整備

市内企業が技術力を活かし、産学官連携や企業間連携等による本市ならではの新製品の開発や生産性の向上等を図ることにより、積極的に経営力強化に向けて取り組む企業を支援します。また、企業の成長に欠かせない人材育成のため、企業が社員を技術研修等に派遣する際の支援を行うとともに、販路拡大に取り組む企業を支援します。

個別計画

第2期上山市まち・ひと・しごと創生総合戦略			

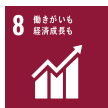


市内企業の高い加工技術を応用した自社製品

基本施策

3-3 観光業

SDGsとの関連



現状と課題

コロナ禍等による宿泊者数の減少はもとより、観光事業者における働き手不足、後継者不在などもあり、現在、本市観光産業は大きな転換期を迎えています。また世界的には、環境、社会文化、経済、ジェンダーレスに配慮した持続可能かつ発展性のある観光振興が求められています。

そのようななか、令和4年度、(一社)上山市観光物産協会が地域DMO^{※1}として国から認定を受け、地域主体による“稼げる観光地域づくり”に向けた新たな動きが出てきています。データに基づく戦略の展開、とりわけインバウンド(訪日外国人旅行者)を中心に、特徴的な地域や豊富な地域資源を結び付けた価値の高いサービスの提供により、域内消費の拡大や滞在時間の延長につなげ、魅力あふれる観光地域を創ることが重要です。

また、本市の将来について、45.4%の市民が「自然・歴史・温泉を生かした観光のまち」が良いと考えており、訪れる人のみならず、ここに住む人々、特に子や孫の代までも幸せや誇りを実感できる観光地域を創っていく必要があります。

目標値

指標	令和9年度	説明
かみのやま温泉宿泊者延数	287,000人	観光消費の大きな宿泊者数を向上させることで、地域における経済波及効果を高めます。

方針

- 複合型産業として、地域DMOをはじめ地域が一体となり、豊富な地域資源を結び付けた価値の高いサービスの提供等により強い観光産業を創るとともに、安心して楽しく過ごせる環境を整え、“だれもが”幸せを実感でき、次世代にも続く観光地域を創ります。

※1 DMOとは、Destination Management/Marketing Organizationの略。地域の多様な関係者を巻き込みつつ数値データなどを活用した科学的アプローチを取り入れながら、地域の稼ぐ力を引き出すとともに、地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを行う舵取り役となる法人のこと。単独市町村の区域を一体とした観光地域として取り組む組織を「地域DMO」という。

施策

3-3-1 地域全体で仕掛ける戦略的な観光振興

これまでの取組

- ▷ 周辺自治体や観光関係団体とも連携しながら、国内外に向けたプロモーションの実施や体験コンテンツ造成等を促しました。
- ▷ 地域の特色を活かした祭り行事や、健康経営を体現できるフィールドづくりと受け皿となる民間団体への支援を行いました。
- ▷ エコー号やレンタサイクルなどの二次交通に対して支援を行いました。
- ▷ 観光事業者に国や県などの事業活用への助言や支援のほか、宿泊割キャンペーンなど、新型コロナウイルス感染症拡大により大打撃を受けた観光産業の回復に努めました。
- ▷ 上山城やかみのやま温泉観光案内所、蔵王坊平野宮場の適正な運営・管理を行うとともに、「山の日」全国大会などを通して蔵王一帯のブランド化を図りました。

目標

1 地域DMOと一体となった戦略的な観光振興の実現

来訪者に係る基礎データを用いた、マーケティング戦略に基づく観光振興を展開するとともに、かみのやま温泉・蔵王坊平・猿倉・小倉の各エリアが持つ特色の磨き上げと結び付けにより、連泊や再来訪等を促す取組を地域全体で進める土壌をつくります。

2 インバウンド(訪日外国人旅行者)誘客の強化

現状を把握しながら、国内旅行者の拡大はもとより、特にインバウンドの誘客強化を進め、閑散シーズンの解消など一年を通じた観光客数の獲得に努めます。

3 “帰りたくなる”観光地域の創造

様々な業種の事業者と一体となり、食や伝統・文化など様々な地域資源を活かした魅力の高いコンテンツ造成や商品開発を促し、観光消費につながる取組を支えていきます。

4 “だれもが”安全・安心できる快適な受入・経営環境の確保

滞在者が安全・安心かつ快適に過ごせる環境整備や事業者の経営課題の解決支援、自然や温泉などの地域資源保全、環境負荷軽減に努めるとともに、市民の観光理解を深めながら、市民が誇れ参画できる観光地域を次世代へつないでいきます。

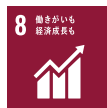
個別計画

第2期上山型温泉 クアオルトビジョン	第2期上市まち・ひと・ しごと創生総合戦略		

基本施策

3-4 農業

SDGsとの関連



現状と課題

農産物価格の低迷、原材料費の高騰および気象災害の多発等により農業経営は圧迫されており、本市における基幹的農業従事者数は、2000年から2020年までの20年間で半減しています。今後もこの傾向は続くと考えられ、持続的な農業の実現のためには、基盤整備や機械補助等により農業生産基盤の向上を図るとともに、気候変動等に対応した高品質な農産物を生産し、農業経営の安定化や収益性の向上を図るほか、農業の魅力を高めることにより、多様な担い手を確保していく必要があります。

また、野生鳥獣による農作物被害は、減少傾向にありますが、被害が発生することにより営農意欲の減退や耕作放棄・離農の増加等の深刻な影響を及ぼすことから、被害の防止策を講じていく必要があります。

目標値

指標	令和9年度	説明
農業産出額	90億円	機械や施設整備への支援、産地確立および販路拡大等の取組により、生産額を増加し、持続可能な農業を目指します。

方針

- 1 高品質な農産物の生産が可能となる産地を構築し、収益性の高い農業を実現します。
- 2 農産物に被害を及ぼし、農村生活をおびやかす有害鳥獣被害の対策を強化します。

施策

3-4-1 収益性の高い農業の実現

これまでの取組

- ▷農業用機械の導入や施設整備への支援など、農業経営の安定化や収益性の向上につながる支援を行いました。
- ▷病害対策や高位品質の維持など、ラ・フランスのブランド化や紅干柿の品質向上等に取り組みました。
- ▷学校給食での特産品提供への支援など食育を推進しました。
- ▷ワイン特区の認定、ワインぶどう生産・ワイナリー創業支援や、松沢ワインぶどう団地の整備など、「かみのやまワインの郷づくり」を推進しました。

目 標

1 農産物産地の確立

スマート農業の導入等により農作業の効率化や生産技術の高度化等を進めて行き、将来に渡り安定的かつ高品質な農産物が生産される産地を目指します。

また、西洋梨やぶどう、紅干柿等をはじめ、これまで培ったブランド力を活かし、産地として認知度を向上させ、農業産出額の増加を図ります。

2 多様な担い手の確保・育成

地域の農業関係者とともに、新規就農者の生産技術向上や農地の集積・集約化を進めるなど、地域外、農業以外からの参入者を含めた意欲ある担い手が営農を継続できる環境等の整備を図ります。

個別計画

農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想	上山市農業振興地域整備計画	第2期上山市まち・ひと・しごと創生総合戦略	

施策 3-4-2 有害鳥獣対策の推進

これまでの取組

- ▷ 地区や関係団体と連携した有害鳥獣の追払い活動を実施しました。
- ▷ 複数地区と連携し、広域防護柵等の設置を行いました。
- ▷ 個人の防護柵等の設置や地域で行う緩衝帯整備など、農地・農作物を守る取組への支援を行いました。
- ▷ 各地区会に対し「鳥獣害防止対策地区説明会」を実施しました。

目標

1 有害鳥獣対策の強化

農家、行政およびその他関係団体が一体となり、防護柵等の設置や追い払い活動、緩衝帯整備等の被害防止に有効な対策を講じることにより農作物被害の減少を図ります。

個別計画

上山市鳥獣被害防止計画	上山市快適環境基本計画		

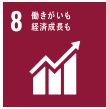


有害鳥獣捕獲の講習会の様子

基本施策

3-5 人材・雇用

SDGsとの関連



現状と課題

国内人口の減少、若年層の進学率上昇、都心部との賃金格差等により、市内の有効求人倍率は高い水準で推移しており、企業側での人材確保が非常に困難な状況となっています。

そのため、次世代の経営者・高度技術者の育成、技術の承継等、事業継続に関する対応が喫緊の課題となっており、人材確保の方策として、外国人労働者や高齢者の雇用への対応が求められています。

今後は、市内企業が魅力的な就職の選択肢となる取組を強化する等市内への人材誘導を進めるとともに、安定した雇用を創出するため、若者、高齢者、外国人等の誰もが活躍できる働きやすい労働環境の整備を図る必要があります。

目標値

指標	令和9年度	説明
「人材が不足していない」と回答する市内事業主の割合	100%	高校生をはじめ大学生その他の年代についても市内企業とのマッチングを図るなど、人材確保に向けた取組を進めます。

方針

- 1 働きやすい労働環境を整備し、人材確保・定着を図ります。

施策 3-5-1 働きやすい労働環境の整備と人材確保・定着

これまでの取組

- ▷商工会と連携し、高校生向け合同企業説明会を開催しました。
- ▷男女問わず育休取得がしやすいよう働きやすい職場づくり奨励金を創設しました。
- ▷市内企業魅力発信サイト「カミリク」を開設し、市内企業の情報を掲載しました。

目標

1 労働環境の整備と人材の確保

魅力ある職場として選択される職場と多様な働き方を選択できる社会の実現を目指し、雇用環境の整備や福利厚生や労働安全衛生の普及啓発に努めます。

また、市内企業の人材確保のため、商工会等と連携し、高齢者・外国人労働者確保に向けた支援も含め、企業ニーズを捉えながら人材確保支援に向けて取り組みます。

個別計画

第2期上山町まち・ひと・しごと創生総合戦略			